



令和元年 11 月 2 日 (土) 名城大学大学祭・公開講座 名城大学八事キャンパスにて

「家族と学ぼう！薬の正しい飲み方教室」「薬剤師体験：散剤・軟膏剤の調製」「おくすり手帳とは？」の出前授業を開催

制作：名城大学薬学部 病態解析学Ⅰ・E プロ（佐治風帆、野田幸裕）、衛生化学・E プロ（河西初音）、薬品作用学（間宮隆吉）
監修：NPO J-DO

名城大学 Enjoy Learning プロジェクト（通称：E プロ：おくすり 110 番）は、高齢者や小学生にも「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）の協力の下に行っています。

令和元年 11 月 2 日 (土)、名城大学大学祭・公開講座 名城大学八事キャンパスにて「家族と学ぼう！薬の正しい飲み方教室」「薬剤師体験：散剤・軟膏剤の調製」「おくすり手帳とは？」を下記の内容にて開催しました。名城大学薬学部 野田幸裕教授（NPO J-DO 副理事長）、間宮隆吉准教授（NPO J-DO 理事）、および本学部 E プロメンバー（17 名：病態解析学Ⅰ 5 年生 7 名、4 年生 8 名、衛生化学 5 年生 1 名、4 年生 1 名）が、講義内容や実験手順の説明と実演を行いました。当日は、子供から大人まで幅広い年齢層の地域住民約 60 名が「くすり」について学び、「『くすり』をお水で飲まなければいけない理由が良く分かった』『軟膏を詰めるのは難しかったけど楽しかった』『おくすり手帳の使い方を知ることが出来た』と大好評でした。今年度の E プロとしては 4 回目の開催となりました。

————— 名城大学八事キャンパスにおける「くすり教室」 —————
「薬の正しい飲み方」「薬剤師体験」「おくすり手帳とは」

日時：令和元年 11 月 2 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分、
13 時 00 分～14 時 30 分

場所：名城大学八事キャンパス薬学部 新 3 号館 301 教室

内容：

◎「薬の正しい飲み方：体験実験」

E プロメンバーがスライドを使って、Q&A 方式で実験内容を解説しながら体験実験を行いました。

<実験項目>

1. コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」をのむのはなぜ？
2. 水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる？
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
4. 「くすり」を「オレンジジュース」で飲むとどうになってしまうの？
5. 「うがいぐすり」でうがいした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

参加者は各テーブルに分かれ、薬学生が解説と補助しながら体験実験を行いました。問いかけに対して児童だけでなく、大人の方も元気よく挙手して応えてくれました。「くすり」が飲み物などで色が変わるのを間近で体験し、驚きの声や歓声がわきあがりました。



◎「薬剤師体験：散剤の手分包・軟膏剤の充填」

参加者は模擬処方箋に基づいて「散剤の手分包」あるいは「軟膏剤の充填」のいずれかを体験しました。参加者にとって初めての調剤体験であり、「実際に薬剤師が薬局で何をしているのかを知ることが出来た」「処方箋に期限があることを知らなかった」「こうやって「くすり」は調剤されるんだね」と薬剤師の調剤技術や仕事内容に対する理解を深められたと思いました。

◎「おくすり手帳とは：おくすり手帳作成体験」

Eプロメンバーが作成した簡易おくすり手帳を使って、①おくすり手帳は自分の薬歴だけでなく既往歴やアレルギー歴なども管理できるツールであること、②携帯することで災害や旅行などの緊急時でも安全に治療を受けられることなどを説明しました。参加者は実際に自分が調剤した「くすり」をもとに簡易おくすり手帳に記入しました。

当日おくすり手帳を携帯している参加者はいませんでしたが、「おくすり手帳に自分の情報を書くページがあることを知らなかった」「病院や薬局へ行くとき以外は家に置いていたけど、これからは持ち歩くようにするね」という声を聞くことが出来ました。おくすり手帳の役割や携帯することの重要性を理解してもらう良い機会となりました。

